

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	外に出る時は付添っているが、玄関の施錠は拘束にあたるので、少しの時間でもよいので開錠できるよう工夫してほしい。	1日のうち何時間か開錠する時間をもうける。	日中の職員の人数の余裕がある日に開錠してみる。	3ヶ月
2	35 (13)	水害、火災の他にも地震を想定した訓練を行い、訓練の際には、再度利用者の避難経路と避難場所の確保と確認をしてみたいかがか。	水害をなくす。火災に気をつける。地震がきた時はラジオ等で情報を得て速やかに安全な場所に避難する。	水害については大雨の際、建物周辺のマンホールの蓋を開け水捌けをよくする。火災については火の元に注意する。地震の際は安全な場所への避難やハザードマップでの確認をしてみる。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。